

感染症管理センター

1. 概要

感染防止対策加算の算定要件を満たし、手厚い診療報酬点数を得て3年目となった。当院の責務は地域連携と感染対策レベルの向上と捉え、年に4回以上の合同カンファレンスを開催し、同規模病院と相互施設の訪問評価を実施している。

院内では『院内感染対策マニュアル第6版』、『抗菌薬使用ガイドライン第3版』の改訂を行い6月に発行。また、医療関連感染情報などの配信ツールとして院内感染対策委員会のもと院内感染対策チームから『ICT News』の定期発行を行った。

感染症、感染対策に関連する法律、法令、告示、通達などは変化、更新されるもので適宜情報を入手している。69年ぶりのデング熱国内流行、西アフリカのエボラ出血熱の対応について厚生労働省や愛知県からの通達を受け豊橋市保健所と連携を図り、院内の対応を指示し情報の提供を行っている。『豊橋市民病院新型インフルエンザ等発生時における診療継続計画（BCP）』も策定した。

(センター長 権田 秀雄)

●感染症発生動向調査

①全数報告

(件)

類型	疾患名	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度
二類	結核	42	29	62	42
三類	細菌性赤痢	0	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	3	2	1	0
	パラチフス	0	1	0	0
四類	A型肝炎	1	0	0	0
	つつが虫病	0	1	1	0
	デング熱	1	0	0	0
	マラリア	0	1	0	0
	レジオネラ症	3	1	4	2
五類	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	1	0	0	0
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	0	0	0
	急性脳炎	1	2	1	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	1	0
	後天性免疫不全症候群	2	0	1	4
	侵襲性髄膜炎感染症	1	0	0	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	2	0	0
	梅毒	1	0	1	0
	破傷風	0	0	0	1
	風しん	1	6	1	0
	麻しん	0	2	0	1

②小児科定点報告

(件)

	疾患名	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度
週報	RSウイルス	108	108	118	106
	咽頭結膜熱	1	0	2	0
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20	24	17	16
	感染性胃腸炎	176	257	435	382
	水痘	13	16	17	27
	手足口病	2	16	2	42
	伝染性紅斑	0	0	1	0
	突発性発疹	2	3	6	6
	百日咳	2	4	2	1
	ヘルパンギーナ	18	14	5	5
	流行性耳下腺炎	2	4	0	1

③基幹定点報告

(件)

	疾患名	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度
週報	細菌性髄膜炎	2	7	3	10
	無菌性髄膜炎	1	1	4	12
	マイコプラズマ肺炎	29	185	465	254
	クラミジア肺炎	0	0	1	0
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	8	0	0	0
月報	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	195	196	204	282
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0	0	0
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	1	1	1
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0

④インフルエンザ定点報告

(件)

	疾患名	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度
週報	インフルエンザ	916	526	768	351

⑤インフルエンザによる入院患者報告

(件)

	疾患名	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度
週報	インフルエンザ（入院患者）	115	83	115	-

⑥職員の感染曝露

(件)

	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度
針刺し・切創（EPI-Net A）	54	48	52	47
皮膚・粘膜汚染（EPI-Net B）	6	12	5	9
院内結核曝露	3	6	7	3

⑦職員健康外来

(件)

	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度
延べ受診者数	136	199	138	111